

一般県道柿木町蒲生線

「路線測量に関する説明会」における質疑応答要旨

令和 7 年 3 月 26 日、30 日

1 事業計画に関すること

Q：今回の事業範囲は、国道 4 号東埼玉道路の交差点から都市計画道路「以下（都）」川柳大成町線との交差点とのことだが、西側の区間はどこまで工事を実施するのか。

A：（都）川柳大成町線との交差点計画を考慮して、現道へ安全に擦り付ける範囲までを整備する予定です。

Q：工事期間はどのくらいか。

A：用地買収の進捗によりますが、5 年程度と考えています。

Q：（都）川柳大成町線との交差点に係る用地を取得した場合、県道を先行して整備するか。

A：先行して整備する可能性はあります。既存の道路を活用して、通行できる交差点形状にすることが出来れば、暫定的に開通することも考えています。

Q：（都）川柳大成町線の整備が進捗しない場合、対象交差点は工事を行うか。

A：用地取得を進め、まとまった用地が確保できたところから工事を行う方針です。
その中で道路として安全な通行が可能であれば、随時供用を開始します。

2 道路計画に関すること

Q：工事期間中の交通処理をどのように考えているか。

A：工事期間中も安全に交通処理を行う方針ですが、詳細は今後設計し検討していきます。

Q：現道の柿木町蒲生線から（都）川柳大成町線との交差点には通行できないのか。

A：五差路になるため、直接交差点に通行することはできないが、既存の道路から交差点へ通行できるような形状を検討していきます。

3 路線測量業務に関すること

Q：測量はいつから予定しているか。

A：4月以降行うことを予定しています。

【その他】

Q：都市計画決定時になぜ墓地を避けたのか、墓地を移転させればよかったのではないか。

A：道路を計画する際は、一般的には墓地を避けた計画としています。

Q：（都）川柳大成町線を早く完成させてほしい。

A：越谷市が行う事業であるため、市と連携して進めていきます。

A：（越谷市回答）

現在の用地取得率は92%であり、引き続き用地交渉を行い、事業を進めていきます。

Q：（都）川柳大成町線の完成目標はいつか。

A：（越谷市回答）

用地取得状況に依存するため、明確にいつまでかは確定できないが、引き続き用地交渉を進めていきます。